



No.23

げんきカエル



こども病院ニュースレター

♪♪ 日帰り手術で生演奏 ♪♪ 音楽療法士の活動報告



音楽療法士 / 梅田裕子・久保田由賀里

「おはようございます。音楽療法士と申します。お子さんが麻酔にかかる数分間、手術室で生演奏をさせていただきます。何か好きな曲(歌)はありますか？」手術を受けるお子さんやご家族にご挨拶することから私たちの仕事が始まります。

ほとんどの方が、これから始まる手術への不安を抱きながら、突然の申し出に一瞬不思議そうな表情をされます。ところが、待合室にてお子さんと一緒に歌を歌ったり、楽器をたたいたり、時にはおもちゃや絵本を通して思いっきり遊んでいると、固かった表情が和らぎ、みなさん、にごっとされます。

そして手術室ではリクエストされた曲(歌)を演奏し、お子さんの入室をお迎えします。怖い手術室が、大好きな歌によって楽しい雰囲気になり、手術室への一歩を促します。



さらに麻酔科の先生や看護師さんも一緒に、歌ったり、アニメソングの話題で楽しく会話をしながら麻酔を導入していきます。

頑張っているお子さんに、みんなで声援を送ります。手術後も、麻酔覚醒時の興奮から少し落ち着いた頃、やさしく柔らかい音色でゆっくりした音楽を弾くと、無事手術が終わったという安堵感からか、お子さんも親御さんも気持ち良さそうに眠られます。生演奏の効果を強く感じる時でもあります。

そして退院時には、みなさん満面の笑みを浮かべ、「さようなら」と元気に帰っていかれます。こうして私たちの仕事は終わります。

日帰り手術のスタッフにとって、このお別れのときのお子さんやご家族の笑顔が何よりの喜びであり、また明日へのエネルギーとなっています。





「夏休みお薬相談室」を開設しました

薬剤部

～芥菜志君様のお薬に対する疑問等を解決するために8月に「お薬相談室」を開設しました。相談日を毎木曜日の午後にしていましたが、宣伝不足もあり、相談に来られた方は5名でした。しかし、どの方も「日頃、気にしていたことが解消できて良かった。」とおっしゃって下さいました。



お薬が飲めた時のご褒美シールもお渡ししたのでお子様にも好評でした。相談内容はこども病院特有の内容かもしれませんが、薬を嫌がる患児への服用方法が中心でした。図やパンフレットで説明させていただ



ましたがわかりにくい部分もあったかもしれないと反省しております。普段の投薬窓口での応対と違い、落ち着いた話を伺う中で、ご家族の飲まれている薬についての相談や健康食品の話まで広がることも多く、こちらが勉強させられることも多かったです。

今後も様々な企画でお薬のことを理解していただけるよう努力していきたいと思っています。



核医学(RI・ラジオアイソトープ)検査について

検査・放射線部

放射線科のレントゲン撮影やCT検査が体の外からエックス線を照射して得られる画像で診断するのに対して、核医学(RI・ラジオアイソトープ)検査は放射線を放出している医薬品を患者様の体内に投与して、体内から出てくる放射線をガンマカメラという装置で検出し画像を作成して診断する検査です。

CT検査やMRI検査が臓器や病巣の形や位置をくわしく調べるのが得意なのに対して、RI検査は臓器や病巣の形だけでなく、臓器の機能(はたらき)をくわしく調べるのが得意な検査です。当院では主に腎臓の機能や、脳や肺・心筋の血流状態をみる検査を行っています。放射線を放出する薬を体内に入れることに不安があると思いますが、RI検査で受ける放射線の量は胸部や腹部の撮影で受ける量と同等かそれ以下です。

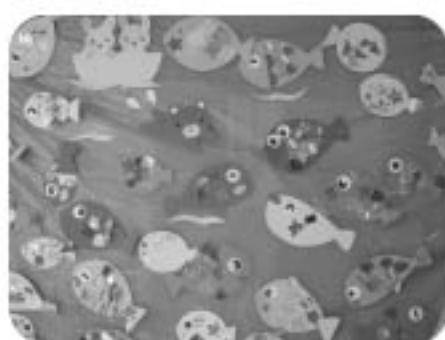
また、放射性医薬品から出る放射線の量は時間と共に減少するので身体への影響はほとんどありません。

なお、当院の検査装置はまもなく更新予定となっております。新しい装置に変わります。



循環器B病棟 紹介

- ◎循環器B病棟では、主に、生まれながらに心臓の病気を持っているお子さまをお預かりしています。
- ◎手術や検査を目的に入院されているお子さまが多く、慣れない環境やしんどい治療を乗り越えて、お子さまが笑顔で退院できるよう、お手伝いさせていただきます。



- ◎長い入院生活からご家族と一緒にうちで過ごせるように、お子さまの個性に合わせた育児相談や指導を行っています。
- ◎病棟には専門の保育士がおり、プレイルームでは集団保育や季節の行事を取り入れた催しがあります。また、プレイルームへ行くことのできないお子さまのお部屋でも遊びを行っています。

Concept

コンセプト

基本理念

周産期医療および小児医療専門施設として、母と子どもの総合的、高度専門的な医療を通じて、親と地域社会と一体になって子どもたちの健やかな成長を目指します。



基本方針

1. 子どもの権利を重視した医療の実践
2. 安心と信頼の医療の遂行
3. 専門的な高度医療の推進
4. 地域医療・保健・福祉機関との連携
5. 親と子の健康啓発活動への貢献
6. 子どもへの愛とまことに満ちた医療人育成

「げんきカエル」で取り上げてほしいテーマがありましたら、食堂前廊下の掲示板にあるテーマ応募箱へぜひお寄せください。

編集後記

朝夕の冷え込みが日増しに厳しくなってきました。体調を崩されませんよう、御機十分にお気をつけください。げんきカエルでは、引き続きテーマを募集中です。ぜひテーマ応募箱までお寄せください。ご意見やご感想、お便りもお待ちしております。今日の担当は日根輪里菜でした。

編集委員長：丸尻 優子
 編集後担当：横畑美香子
 編集委員：田中亮二郎 藤中 早代 中西亜希子
 大中 清文 久布白 歩 長尾 洋
 高橋 政晴 野口 志子 谷本江利子
 持古あけみ

本誌に関するご感想・ご希望・ご質問はこちらまで



兵庫県立こども病院

周産期医療センター 小児救急医療センター

〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1
 TEL 078-732-6961
 FAX 078-735-0910 (総務課)
 FAX 078-732-6960 (地域医療連携室)
 URL: <http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>
 E-MAIL: info_kch@hp.pref.hyogo.jp